

【研究シーズテーマ】

# スケジューリング問題に対する 知識獲得支援

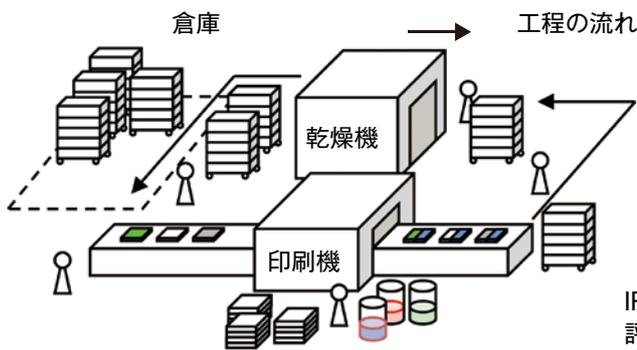
 情報学部 情報コミュニケーション学科 教授 **松本 慎平**

**Keyword**
**スケジューリング/IF-THEN知識/知識獲得**


## 【研究シーズの概要】

スケジューリング問題とは、ジョブを種々の制約のもとで実行しなければならないとき、実行可能なスケジュールや、最適なスケジュールを見付ける問題です。私たちは、Single Player Monte-Carlo Tree Search(SP-MCTS)と呼ばれる木探索手法を用いて、IF-THEN規則で表された現場のスケジューリング作業知識を評価する手法、知識を具体化する手法を開発しました。これらの手法により、現場の経験則の優劣を定量的に評価することが可能となりました。また、優れた答えを導き出すための知識の具体化の方針を示すことが可能となりました。

◎これまでの研究で対象とした印刷工程



◎知識獲得フレームワーク



## 【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 知識の優劣を量的に評価することが可能となりました。
- 知識の具体化に向けての方針を工学的観点から示すことが可能となりました。
- 知識のスケラビリティを評価することが可能となりました。

## 【産業界での展開・用途】

- 現場の作業知識に基づいた自動処理アルゴリズム
- 作業現場で知識の有用性を量的に評価可能なシステム

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963  
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail [kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp](mailto:kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp)